

活動報告



- 8/6(金) ケース検討会議 (於:フェニックス在宅介護支援C. 1名参加)
- 8/25(水) 四国放送取材
- 8/27(金) 西日本自閉症実践療育セミナー (於:徳島文理大学 3名参加)
- 8/30(月) 徳島保健所難病対策実務者会議 (於:徳島保健所 1名参加)
- 8/31(火) 会計担当者会議 (於:どりーまあoffice)
- 9/8(水) 県教育委員会進路開拓推進事業地域懇親会 - 障害児の進路及び自立に関する啓発活動 - ★講師として参加 (於:ひのみね養護学校)
- 9/19(日) デイサービスさくら (於:助任三本松コミセン)
- 9/20(月) NHK取材
- 9/21(火) 難病患者関係者連絡会議 (於:徳島保健所 1名参加)
- 9/25(土) とくしまボランティアフェスティバル (於:アスティとくしま) ★ボランティア相談コーナー担当★
- 9/26(日) 同フェスティバル文科会(5分科会)参加 (参加者 計29名)
- 10/7(木) 「豊かな老後を迎えるために」 ~介護保険時代の福祉コミュニティづくりを考える~ ★シンポジストとして参加 (於:県総合福祉センター)
- 10/8(金) 「地域支援施設担当者連絡会」 ★講師として参加 (於:障害者生活支援センター-凌雲)
- 10/12(火) ケース検討会議 (於:平成在宅介護支援C. 1名参加) ヘルパーステーション「たすけあい」実技研修<1> (於:県看護会館 8名参加)
- 10/16(土) 徳島医療フォーラム (於:徳島パークホテル 2名参加)
- 10/19(火) ヘルパーステーション「たすけあい」実技研修<2> (於:県看護会館 10名参加)
- 10/26(火) 難病対策検討会議 (於:鴨島保健所 1名参加) ヘルパーステーション「たすけあい」実技研修<3> (於:県看護会館 11名参加)
- 10/28(木) 介護教室「介護保険の仕組みと制度の利用」 (於:健生さわやか在宅介護支援C. 1名参加)
- 11/6(土) 読売新聞取材 (於:どりーまあoffice)
- 11/19(金)~11/21(日) 「指定居宅サービス事業者」指導者養成研修 (於:福岡市 2名参加)
- 11/25(木) 難病患者 評価委員会 (於:板野町町民センター1名出席)
- 11/27(土) 介護支援専門員 講演会 (於:四国大学 1名参加)
- 11/29(月) 難病対策実務者会議 (於:徳島保健所 1名参加)

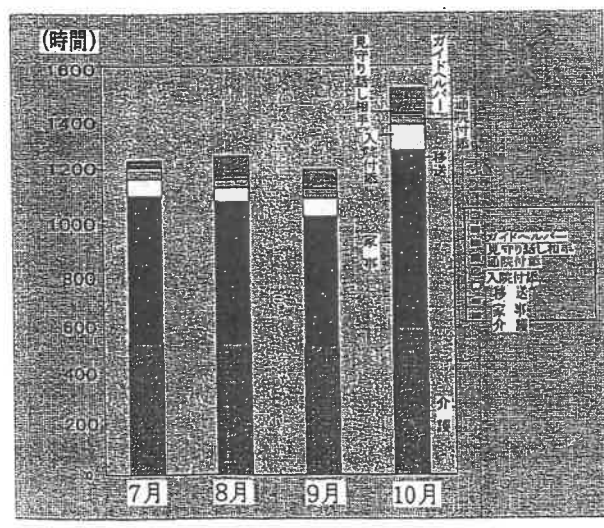
地区別・サービス形態別表 (人数)

平成11年11月11日現在

	家事	介護	移送	家事移送	家事	ガイド	見守り	話し相手	話し相手	手代	付添	小計	努力	合計
徳島市	39	8	24	17	18	5	2	9	5	1	128	84	212	
鳴門市		2		2		2					6	5	11	
阿南市	1		1								2	3	5	
小松島市	2	1	6	1					1	1	12	8	20	
石井町			7			2	1				10	2	12	
鴨島町	1	3	2	1	1						8	13	21	
川島町		3									3	11	14	
山川町	1	2					1				4	3	7	
穴吹町											0	1	1	
脇町町		1									1	2	3	
市場町			1								1	1	2	
土成町		1		2							3	2	5	
吉野町		1	2	1							4	1	5	
上板町			1								1		1	
板野町			1								1	2	3	
藍住町	1		1		1					1	4	5	9	
北島町			1								1	2	3	
松茂町			1								1	2	3	
佐那河内村											0	2	2	
勝浦町											0	1	1	
羽ノ浦町											0	2	2	
阿波町											0	1	1	
合計	45	22	48	24	19	10	2	11	5	2	190	153	343	

活動実績 (時間数)

	介護	家事	移送	入所付添	付添	通院	話し相手	話し相手	ガイド	朗読	合計
7月	505	586.5	65	49.5	6	7	10				1229
8月	505	561	55.5	29	4	84.5	6	2			1247
9月	496	513	67.5	41		67	13				1197.5
10月	564.5	698	105.5	43	5	85.5	14.5				1516



◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス
 〒770-0939
 徳島市かちどき橋2丁目28-4
 TEL 088-626-3237
 発行責任者 山口浩志

広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信 <第7号>

1999年11月発行

『夢の公表』

社会の変化がめまぐるしい今日この頃、わが国、わがまちは一体どの方向へ向かっているのでしょうか。舵取り役はどこに存在しているのでしょうか。たすけあい精神で種々な在宅の人たちとふれあっている毎日と、新聞・雑誌等で目に入る情報との行き違いに憤りを感じております。

今こそ私たちは、自らの力で自分たちの住むまちを、そして家族を守っていかねければなりません。大波乱含みの時代だからこそ市民一人ひとりの力が重要なエネルギーとなってきます。堀田力氏は著書「悔いなく生きよう」の中で「夢の持ち方」について「一人のちよつとした行動が積み重なりその輪が広がれば大きな力となる」と自らの力を発揮すべき必要性をうたっており、『今日』の一人ひとりのたすけあい活動の積み

社会の変化がめまぐるしい今日この頃、わが国、わがまちは一体どの方向へ向かっているのでしょうか。舵取り役はどこに存在しているのでしょうか。たすけあい精神で種々な在宅の人たちとふれあっている毎日と、新聞・雑誌等で目に入る情報との行き違いに憤りを感じております。

今こそ私たちは、自らの力で自分たちの住むまちを、そして家族を守っていかねければなりません。大波乱含みの時代だからこそ市民一人ひとりの力が重要なエネルギーとなってきます。堀田力氏は著書「悔いなく生きよう」の中で「夢の持ち方」について「一人のちよつとした行動が積み重なりその輪が広がれば大きな力となる」と自らの力を発揮すべき必要性をうたっており、『今日』の一人ひとりのたすけあい活動の積み



山口 浩志

目次

- ★みんなの広場 広がるボランティアの輪 5面
- ★ヘルパー たすけあいの準備 7面
- ★介護保険のしくみ 8面
- ★声 9面
- ★事務局の活動 10面

『今日』の行動から『明日』への輪

協力会員募集中

《在宅支援活動》にご協力いただける方を募っております。

- ◆簡単な介護
- ◆家事援助
- ◆送迎ドライバー

皆様のお力で、助けあいのネットワークを広げてゆきましょう。

福祉の窓

重ねで「明日」への形づくりを担う。うではありませんか。

難病の総合相談

徳島保健所では難病を持つ患者さんの相談窓口として機能の充実に努めています。病気についての説明や相談、利用することのできる福祉サービスの紹介、患者及び家族の交流会の紹介と支援、療養生活のための教室の開催などを行っています。

【主な事業内容】

- ①医療給付申請受付
- ②保健婦の家庭訪問
- ③講演会・教室
 - ・後縦靭帯骨化症講演会
 - ・ベーチエット病講演会
 - ・特発性血小板減少性紫斑病講演会
 - ・網膜色素変性症講演会
 - ・クローン病教室(年4回)
 - ・パーキンソン病教室(年4回)
- ④患者家族の交流会
 - ・重症筋無力症の交流会(年3回)
 - ・膠原病の交流会(年2回)

*悩みや不安を抱えている方は、気軽に相談ください。

徳島保健所 疾病対策係
 TEL (088) 653-1552

どりーまあ徳島

〈ケアプラン作成事業者〉
 介護支援専門員
 (第A-1075号)
山口 浩志
 ★訪問相談(電話でも可)
 ★ケアプラン作成
 ★年中無休
 夜間・休日可
 (088)

② 『どりーまあサービ
ス』は世代・地域を越
えたつながりで支えら
れています。紙面を通
していろいろな協働会
員さんをご紹介して
みたいと思います。

当房 美弥子さん

ナニワ旋風

吹田市で
住んでいた
頃、経験した
難病ボランテ
ィア活動を徳
島の地でも再
現したいと思
い、始められ
たそうです。
ある講座の場
でどりーま
あ」のスタッ
フと知り合い
の場でGET-今では在
宅ボランティアと難病ボ
ランティアとの両輪で大
忙し。ご本人は「まだ階
段に足をのせかけている
段階です。」「としっかり
将来を見据えて駆け上
がっています。

美容院を経営さ
れている田倉さん
は何事にも好奇心
旺盛。お店が休み
の時間をぬって参加
してくれています。
「いろいろな人にめぐ
り会える喜びを友達
にも伝えたかった。」
と事務局の応援団
でもあります。
期待に応えられる
よう頑張ります。

田倉さんの
お客さんであ
ったH.Kさん。
家族に高齢者
もいなく、最初
は不安そうでし
たけど、今では
「身近に接して
みて老人問題が
自分事として思
えるようになった。
これからは本領
発揮ですね！」

同級生の姉であ
るH.Kさんから
伝わりました。自
身姉のような存在
である人のすすめ
で自然に入り込め
たと言う福田さん
も「最近年老いた自
分の親にもやさし
く接することがで
きるんですよ！」
と感激もひとしお。
その感激のネットワ
ークを広げていき
たいですね！

永年菓子職人とし
て働きあげたご主人
と、自分のライフワ
ークとして老人福祉の
仕事を選び転職した
奥さんです。キミエ
さんは仕事の休日を利用
して、「楽しくボラ
ンティアを」と。弘明
さんはドライバート
して「どこでもいきま
すよ。」と活躍中。
誠実な人柄は高い
信頼を得ています。

大木 美恵子さん
老人福祉施設での経
験を生かして週4回の
昼・夜のボランティアを
バイク姿でさっそうと軽
快にこなしている美恵子
さん。
退職後の余暇にドライ
バーをお願いしたところ
「かんまんや」と二つ返
事で引き受けてくださっ
た頼一さん。気さくな笑
顔の陰にプロの腕前が光
っています。

最初はボランティアつ
て
照れくまかったけれど、
続けていくと楽しくな
り、今度ボランティアに行
くのが待ち遠しいです。
「これからも忙しくてあ
まりできないと思うけれ
ども、一人でも多くの人が
喜んでくれる顔がみたい
ので、頑張りたいと思
います。」

「ボランティア募集
を新聞で見かけた時、
資格も不問、できる
時だけの活動で良い
とのこと」私にもでき
ることがあればやつて
みたい」と電話しまし
た。「原田さんのおば
あちゃんも自宅でお政
婦さんのお世話をうけ
ていました。
入院中とは対照的に
家で元気になつていく
おばあちゃんとお世話
をする家政婦さんの姿
が印象に残っていて、病

院にもできず、家族
にもできないことを
他人ができることが
あるんだなあ。」と思
ったそうです。活動
してみても感じたこと
を友達(一宮さん)
に話したら「私も話
を聞きたい。」と言わ
れ紹介し即登録に。
一宮さんも仕事の
休みを利用して種々
のボランティアの現場
にも「明るく元気に」
臨んでくれており、

「これからは障害児
に関わるボランテ
ィアがしてみたい」と意
欲满满です。
高校時代は陸上部
で短距離と長距離の
選手として活躍され
たお二人、夢を持って
それぞれのボランテ
ィアロードを今、確かな
足取りで、歩んでいま
す。

事務局だより

サービス時間の報告について

事務局では一件一件のサービス
実施時間をパソコン管理のもと、
データ集計しています。サービス
が延長したり、早く終わった場合
はその都度ご連絡下さい。
又、利用会員さんの体調の変化
ご家族からの伝言等も「一報下
さい。
その一言の声かけが信頼と安心
のネットワークづくりにつながり
ます。

みんなの広場

サービスの申し込みは事務局

「こんど〇月〇日〇時頃来てくれます
か？」
サービスの依頼・時間変更は大変重要な事
です。必ず事務局までご連絡下さい。日時
の変更追加も会員さん同志で話合わずに
事務局までお申し出下さい。
(くすのき会則第3項)

お歳暮の送り方について

私達のたすけ合い活動は、サービスチケット
方式で成り立っています。お歳暮等のお心
遣いはご遠慮させていただきます。

チケットが少なくなりました

お手元のサービスチケットが少ないのに気づ
いたら早めに事務局までご連絡下さい。
お届けします。

健康ひとくちアドバイス

緑茶を飲みましょう

「ガンやコレステロールに有効」

渋み成分のタンニンに含まれ
るカテキンというポリフェノール
に発がん抑制、抗腫瘍作用があ
ります。また茶葉に含まれる
β-カロチンの量は非常に多く
抹茶では、ガン予防や免疫力増
強作用が大きく働きます。

お茶の香りに含まれるフラバ
ノイドが血管壁を強化して高血
圧を予防し、口臭も防げます。

豆知識
☆しゃぶしゃぶに利用☆

抽出した茶で割っただし汁を
肉のしゃぶしゃぶに利用すると
口当たりがさらさらになり、油
なく、コレステロールの吸収も防
ぎます。
これからの季節、ぜひおため
しを。

協力会員さんへお願い

『介護保険法とNPO』



財団法人 さわやか福祉財団

組織づくり支援グループ



梶浦 洋一

平成十一年十一月五日、自公(自由民主党、自由党、公明党)三党合意を受けて政府は、十二年四月から実施される介護保険制度について、(一)半年間保険料徴収を行わないで、半年後から一年間は半額を徴収し、その財源は国が負担することなど、見直し方針を決定した。

しかしながら、介護保険の目的は、(一)家族介護から社会的介護へ。(二)地方分権を促し、分権型社会の確立。(三)措置制度からサービスが選択可能な自立支援システムへ。(四)社会的入院を解消し在宅福祉へ。(五)民間参入による良質かつ大量のサービス創設。という高齢者福祉世界における大転換であります。

さわやか福祉財団では、このような背景の中、全国二十カ所において、市民の助け合いを促進する研修会(さわやか一日研修)を開催しております。

「これからNPOは、個を見つめ直し、多様な価値観の上にそれぞれの生き方を大切に、高齢者支援に携わる者として、団体運営、地域の新たな人材の掘り起こし等、市民組織としての姿勢と運動の再確認が必要です。」

「この世は一寸先は闇。何が起るかわからない。十五年ぶりの「試練」として襲来してきたのです。頑張らなくては！」

師走も下旬に直腸切断の手術。正月中旬には腸閉塞を克服するための再手術。絶体絶命のピンチでした。

その同じ頃、有名人が似た病気で次々とあの世へ旅立っておられました。本人は「今度はダメなよう・・・」と、言い出していました。痛みがことのほか厳しかったのです。

しかし、主治医の先生を始め多くの先生方、婦長さんや優れた看護婦さん方の筆舌に尽くしがたいまさに頭の下がるご尽力で一命は取り留められました。

加えて多数の友人・知人のご激励とお力添え、親族・家族の協力支援を受けて、この上ない有り難いパワーを与えられました。退院できました。次に私の手術も無事に完了。そして、体力減退した妻の「家事援助」をして下さる方を求めていました。そこへ縁あって紹介されたのが「どりーまあサービス」でした。

早速、利用会員と賛助会員に加入。そして協力会員へ。山口代表とお話をしていくうちに「事業を進める基本的な行き方考え方」に共鳴したからです。青雲の志を持っていた五十年前から求めてきた人物に出会ったと実感したのです。私の人生は、人との出会いで転換し、進展し続けていくのです。

早いもので今年も残り少なくなりました。振り返ると非常に短い一年です。一年前のちょうど今頃は、妻の大腸検査の結果を知り、予約していた私の耳の手術を後へ回して、妻の入院・手術を早くする手立てに奔走していました。

この世は一寸先は闇。何が起るかわからない。十五年ぶりの「試練」として襲来してきたのです。頑張らなくては！

師走も下旬に直腸切断の手術。正月中旬には腸閉塞を克服するための再手術。絶体絶命のピンチでした。

「介護実技研修 スタート」

開催初日、冒頭同センター所長 山本政子先生より「ホームヘルパーとして携わっていくには知識もやる気も必要」とな

がら、人間的素養も兼ね備えていなければならぬ。介護の評価をプロとして受ける立場である以上、単にいい事をしてい

いうだけでなく在宅での活動を通して人間的にも成長していくてほしい。」とのお言葉をいただき、参加者一同身を引き締めて研修にのぞむことができた。

「指定居宅サービス事業者」として行うプロのヘルパーグループとボランティアのグループに分かれて双方が連携しながらサービス活動を展開していくことがいよいよ現実となりました。

「指定居宅サービス事業者」として行うプロのヘルパーグループとボランティアのグループに分かれて双方が連携しながらサービス活動を展開していくことがいよいよ現実となりました。

緊急時の対応の仕方、様態の変化の見分け方のポイント等 一対一の在宅での介護には基礎的な医療知識が必要であると思う。今後の研修に期待したい。

参加者の方々からの質問等、研修会の雰囲気から現場での厳しさを痛感した。自分自身も今後様々なケースの経験を積んでいきたいと思う。

介護現場での自分のやり方が間違っていないかを確認することができ自信が積極的に参加したい。

ケース記録の取り方(part)

ケアプランの作成(part)

ケアプランの作成(part)

ケースカンファレンス

『おかげさままで...』

どりーまあサービス 顧問



梶浦 洋一

早いもので今年も残り少なくなりました。振り返ると非常に短い一年です。一年前のちょうど今頃は、妻の大腸検査の結果を知り、予約していた私の耳の手術を後へ回して、妻の入院・手術を早くする手立てに奔走していました。

この世は一寸先は闇。何が起るかわからない。十五年ぶりの「試練」として襲来してきたのです。頑張らなくては！

師走も下旬に直腸切断の手術。正月中旬には腸閉塞を克服するための再手術。絶体絶命のピンチでした。

その同じ頃、有名人が似た病気で次々とあの世へ旅立っておられました。本人は「今度はダメなよう・・・」と、言い出していました。痛みがことのほか厳しかったのです。

しかし、主治医の先生を始め多くの先生方、婦長さんや優れた看護婦さん方の筆舌に尽くしがたいまさに頭の下がるご尽力で一命は取り留められました。

加えて多数の友人・知人のご激励とお力添え、親族・家族の協力支援を受けて、この上ない有り難いパワーを与えられました。退院できました。次に私の手術も無事に完了。そして、体力減退した妻の「家事援助」をして下さる方を求めていました。そこへ縁あって紹介されたのが「どりーまあサービス」でした。

早速、利用会員と賛助会員に加入。そして協力会員へ。山口代表とお話をしていくうちに「事業を進める基本的な行き方考え方」に共鳴したからです。青雲の志を持っていた五十年前から求めてきた人物に出会ったと実感したのです。私の人生は、人との出会いで転換し、進展し続けていくのです。

緊急時の対応の仕方、様態の変化の見分け方のポイント等 一対一の在宅での介護には基礎的な医療知識が必要であると思う。今後の研修に期待したい。

参加者の方々からの質問等、研修会の雰囲気から現場での厳しさを痛感した。自分自身も今後様々なケースの経験を積んでいきたいと思う。

介護現場での自分のやり方が間違っていないかを確認することができ自信が積極的に参加したい。

ケース記録の取り方(part)

ケアプランの作成(part)

ケアプランの作成(part)

今後の研修日程

- 11月
 - 介護従事者としての心得
 - 接遇(身だしなみとマナー)
- 12月
 - 組織の理念(使命と役割)
 - 業務連絡のとり方
- 平成12年
 - 1月
 - 規律と人間関係
 - 介護保険制度のしくみ
 - 2月
 - ケース記録の取り方(part)
 - 3月
 - ケアプランの作成(part)
 - ケアプランの作成(part)
 - ケースカンファレンス

始動迫る！！

介護実技研修

スタート

開催初日、冒頭同センター所長 山本政子先生より「ホームヘルパーとして携わっていくには知識もやる気も必要」とな

がら、人間的素養も兼ね備えていなければならぬ。介護の評価をプロとして受ける立場である以上、単にいい事をしてい

いうだけでなく在宅での活動を通して人間的にも成長していくてほしい。」とのお言葉をいただき、参加者一同身を引き締めて研修にのぞむことができた。



《First ステージ》



周知の通り、本年6月にNPO法人格を取得いたしました。その目的の一つに公的介護保険制度に関して「指定居宅サービス事業者」を目指すことがありました。今後そうした観点からいろいろな動きについても紙面を通してお知らせしてまいります。今回は去る十月十二日(火)を皮切りに県看護協会訪問看護ステーションのスタッフの方々のご協力を得、3回シリーズで行われた介護研修の模様を追ってみたいと思います。



市民のたのしみ

介護保険のしくみ

どりーまあサービス版 <PART1>

わがまちの介護保険

利用者(六十五歳以上の高齢者)

申請

市町村(役所・役場)

訪問調査

市町村職員および委託職員・委託事業者

介護認定審査会

審査判定

認定

介護サービス計画の作成

『どりーまあ徳島』ケアマネージャー 訪問相談

介護サービス計画決定

サービス利用開始

ヘルパーステーション「たすけあい」よりヘルパー派遣

保険枠外サービスの必要性に応じてボランティア派遣申請

本人や家族の他、近くの居宅介護支援事業者にも頼めます。

かかりつけ医 意見書

コンピュータ判定

特記事項

かかりつけ医の意見書

6つのランクに分かれ、必要な介護サービスを定める基準になります。

非該当

(自立判定)

どりーまあサービス ボランティアコーディネーター訪問

面接

相談

会員登録

サービスチケット購入

ボランティア会員とのふれあい交流開始

